

## < 事業所自己評価 >

### 【事業所概要】

法人名	有限会社コミュニティ	事業所名	看護小規模多機能ホームひなた
所在地	(〒 094 - 0021 ) 紋別市大山町1丁目36番14号		

### 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 2 月 25 日	従業者等自己評価 実施人数	( 26 ) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

※ 当該様式は、「事業所自己評価」の結果を整理するとともに、その結果を運営推進会議へ報告するための様式として使用します。また、運営推進会議において得られた主なご意見等は、次ページ以降の「運営推進会議における意見等」の欄にメモします。

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価		
			自己評価	運営推進会議における意見等	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材不足を解消し、社内の雰囲気作り。職員同士が働きやすく、精神的、身体的負担の軽減の環境作りを図る。</li> <li>・人材不足の中、新人教育やスキルアップは難しいが、新人教育評価表や、個人目標の設定の取り組みをしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正社員の雇用促進</li> <li>・夜勤専従職員の確保</li> <li>・外国人人材雇用の継続と雇用に繋ぐ事ができた</li> <li>・新人には認知症介護基礎研修、全職員対象で虐待研修等を実施。又は個人目標も設定し目標を意識がけし達成するための努力を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな職員雇用は行ってきたが、退職者や休職者もあり、人材不足の解消には至っていない。</li> <li>・外国人の雇用も実施できたが、外国人は業務内容に制限もあり、全体を通した人材不足解消には至っていない。</li> <li>・社員間でのコミュニケーション量は増えており、雰囲気も改善傾向であるが、労働時間の配慮や業務量の軽減には至っていない。</li> <li>・ミーティングや会議で認知症や高齢者介護について検討の取り組みを行えている。</li> </ul>		
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材不足が大きな要因となり、ご利用者様ご家族の気持ちに寄り添った関り、支援ができるような職員意識をもち取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職種での連携や情報共有によって利用者様に適したサービス提供につなげている。</li> <li>・日頃から利用者様をよく観察し変化に気付ける意識を持つことを心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材不足から職員一人にかかる業務量が多くカンファレンスにかかる時間が十分となりにくい。</li> <li>又、利用者様の個別性への対応にかかる時間的、精神的余裕が不足しがちである。</li> <li>・日常生活動作やレクリエーションをリハビリの一環として取り組んでいる。</li> </ul>	

	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院、施設等の連携、情報共有を全職員が把握する。</li> <li>・医療機関との連携を図り、利用者様の在宅生活の継続として、速やかな対応を実施できるように努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関と在宅療養や入退院時等に情報提供を実施（書面や専用アプリによる）し、連携を図る。</li> <li>・医療機関からの情報は、ミーティングや書面を活用し職員間で情報共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職員、各職種間の情報共有により利用者様の体調の変化を見逃すことなく医療機関と連携を図っている。</li> <li>・ミーティングや引継ぎ等で介護や看護の情報共有を図っている。</li> <li>・人材不足によって24時間体制による医療的処置が徐々に難しい傾向になりつつある。</li> </ul>	
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における複合型サービスの機能と役割の学習会の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所、包括支援センター、病院のMSW、SWと連携し、取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスで包括的機能や複合型サービスに関し職員の業務の機会とし、徐々に職員の意識強化を図っている。</li> </ul>	
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における事業所の機能と役割の学習会の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングや会議、カンファレンス時に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ職員全員が機能と役割について理解できてはいない。</li> </ul>		

※「進捗評価（運営推進会議における意見等）」には、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします。その他の欄は、事業所が記載します

■ 「今回の改善計画（案）」および「運営推進会議における評価」

項目		改善計画（案）	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな職員雇用促進と働きやすい職員間の関係性作りを継続。</li> <li>・研修や会議、ミーティング等によって職員教育やスキルアップの取り組みを継続。</li> </ul>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・人材不足が大きな要因として続いているが、利用者様個々の状態や要望に応えたい思い、寄り添いたい思いを大切に職員間で連携し取り組む。	
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・入退院時連携や、日々の体調として医療機関との情報共有を引き続き継続し、安定した体調での在宅生活への取り組みを行う。	
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	・住み慣れた地域における複合型サービスの柔軟性を持ったサービス提供の実施と、地域における行事等への参加に取り組む。	
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		・日々の業務だけではなく、その背景にある看護小規模多機能型居宅介護や、地域として当事業所と役割等を会議や社内研修、ミーティングやカンファレンス開催時に行い、職員意識の向上を図る。	

※「改善計画（案）」には、事業所としての案を記載します。「運営推進会議における意見等」は、運営推進会議の場で得られた主なご意見等をメモします

■ 評価表 [事業所自己評価]

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]								
(1) 理念等の明確化								
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践								
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	1	17	8			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</li> <li>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>	
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療面での多職種との連携、ターミナル対応、自立支援を目指した関わり。</li> <li>・家族へのレスパイトケア、医療機関やインフォーマルサービス活用等で実施できている。</li> <li>・夜勤専門なので主に4の家族の負担軽減の理念で、利用者様一人ひとりがその人らしい時間を過ごして頂けるよう、真剣に個別ケアに取り組んでいます。</li> <li>・福々で生活されている利用者様が、自宅で過ごされる安心感を持てるような関わり方を心掛けています。押し付けではなく理解し、理解して頂けるよう援助。</li> </ul>						
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	1	16	8		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>	
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人手とした物理的な問題から時には難しい状況があった。</li> <li>・サービスの特徴をしっかりと理解できていない。</li> <li>・謙虚な態度で利用者様のお世話をさせていただきます。</li> <li>・理念を心に留めつつ支援にあたらせて頂いています。</li> <li>・利用者様や利用者様の家族の心に寄り添った取り組み</li> </ul>						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
(2) 人材の育成								
① 専門技術の向上のための取組								
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		8	10	5	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> <li>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</li> </ul>
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーで話し合っ計画を決めている。</li> <li>・育成計画は作成していない。</li> <li>・まだそのような話し合いにまでは到達していません。</li> <li>・技術向上のための研修等あれば参加したい。</li> </ul>						
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	1	7	7	9	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネ連協での研修の他、社内では認知症や虐待予防等とした研修で対応を行っている。</li> <li>・研修などを受ける機会はなかった。</li> </ul>						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保								
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	1	25				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</li> </ul>	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝のミーティングや会議で情報共有している。</li> <li>・情報共有できるようしているが、伝わっていないことがあった。</li> <li>・会議や引き継ぎ等で。</li> <li>・カンファレンスに参加する機会がなかったが、朝礼や会議等で話し合い、共有できている。</li> <li>・毎朝行われる朝礼や定期的なカンファレンス、会議等で情報の共有が行われている。</li> <li>・夜勤の時の申し送りは職員が相互に情報を共有していると思う。</li> <li>・朝、夕の申し送り等、利用者様の情報掲示等で情報伝達がなされ共有しています。</li> <li>・朝の引継ぎやミーティング情報を共有しています。</li> </ul>						
(3) 組織体制の構築								
① 運営推進会議で得られた意見等の反映								
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	1	15	5	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要望や助言に従ってすんなりと事が進んだりした時。</li> </ul>						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備								
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	1	16	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</li> </ul>	
		<p><u>〔具体的な状況・取組内容〕</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右記より「職員の能力向上の支援」、「労働時間への配慮」は整備されていないと思う（パート除く）。</li> <li>・不安や疑問があればその都度相談でき勤務時間や休日の配慮をしてもらっている。</li> <li>・「労働時間への配慮」と「精神的な負担の軽減のための支援」がなされているから。</li> <li>・管理者から職員間の問題に対する注意喚起がありました。</li> <li>・困ったら聞ける人がいる。</li> </ul>						
(4) 情報提供・共有のための基盤整備								
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備								
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	3	22			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>	
		<p><u>〔具体的な状況・取組内容〕</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の引継ぎ、ミーティング、夕の引継ぎ等で迅速な共有化を図っている。</li> <li>・変更があればホワイトボードに付箋で情報共有する。</li> <li>・全職員に共有することができるよう、ボードに記入するようにはしたり、ミーティングで伝えていた。</li> <li>・ホワイトボードの活用、メモ紙活用で情報の更新は迅速にできている。</li> <li>・毎朝行われている朝礼で共有されていると思います。</li> </ul>						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足		
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし				
								<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜勤の時の申し送り等でその日のうちに共有されている。</li> <li>・介護記録を必ず読み、利用者様の状態を把握するよう努力しています。</li> <li>・新しく入所した方の情報を職員間で共有できるように工夫されている。</li> <li>・何か変化があった場合、随時報告しています。</li> </ul>		
(5) 安全管理の徹底										
① 各種の事故に対する安全管理										
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	1	22	1	1	1		<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>		
								<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な介助方法の確認や福祉用具の活用で対策を実施している。</li> <li>・インシデント、事故報告が迅速にされるので、利用者様、職員の予想外の行動に気づく事ができる。</li> </ul>		

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
② 災害等の緊急時の体制の構築								
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	1	18	4	1	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・BCPの作成も進めている他、災害時を想定した物品の確保や保管場所の共有化を図っている。 ・「安否確認方法の明確化」と「連絡先リストの作成」などがされている。						
II サービス提供等の評価								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施								
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	1	16	4	3	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</li> <li>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ケアマネの定期訪問や各職員から受ける情報収集、本人、家族との面接等によって全体像の把握に努めている。 ・夜勤専門なので在宅の利用者の状況の把握は出来ていません。						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		19	5	1	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</li> </ul>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成								
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	1	19	2	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</li> </ul>
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	1	19	4	1	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成								
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	1	21	1	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</li> </ul>	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・予測状況を想定し、プランのサービス内容へ設定して対応している。						
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践								
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映								
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	1	17	4	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・本人や家族状況を把握しながら適宜プラン変更を行い対応している。 ・継続的なアセスメントで利用者様の状況変化に早期対応できていると思います。						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映								
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	1	17	3	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</li> </ul>	
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> ・ケアマネとしての定期訪問による本人、家族との面接や家族へ連絡を行いながらの把握も行っている。 ・訪問看護での情報収集はできていると思う。						
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有								
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	1	19	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</li> </ul>	
		<u>〔具体的な状況・取組内容〕</u> ・主治医や事業所内外の関係、多職種との情報が共有出来ている。 ・状況変化がある時は報告、記録しているが、情報共有されたか判断できない。						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供								
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	2	22	1		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</li> </ul>	
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護で出来ていないことを看護に願う（摘便等）。</li> <li>・利用者様の身体の変化を介護を見つけ、看護へ報告するなどしている。</li> <li>・介護職にできる事は出来る限り対応する。判らない事は看護に相談、報告できる。</li> <li>・「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」のとれたサービスが提供されていると思います。</li> </ul>						
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	2	23			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</li> </ul>	
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝のミーティングと毎月の会議で情報共有している。</li> <li>・状況や状態の変化を共有し、対応している。</li> <li>・受診時は看護より情報をもらい通院している。</li> <li>・利用者様の変化を報告し、対応できる。</li> <li>・利用者の心身に変化が見られたらその都度報告し、対応策を話し合っている。</li> <li>・介護職と看護職の情報共有がなされている。</li> <li>・利用者様の食事量、水分摂取量、排便、排尿の状態、身体のチェック、普段との様子の違いを記録し、訪看さんと情報を共有しています。</li> <li>・朝の申し送り後、利用者さんの情報を共有して対応している。</li> </ul>						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
② 看護職から介護職への情報提供および提案								
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	2	21	1	1	1	<p>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</p> <p>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</p>	
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングや引継ぎ、カンファレンス等で医療の見地からの助言や提案を受けることが出来ている。</li> <li>・体操や体交方法などの予防や機能維持案を共有し、介護職が対応することができる。</li> <li>・看護職から必要な処置、リハビリ支援の方法等を提案、指示をもらっている。</li> <li>・情報提供がある。</li> <li>・訪看さんからの情報を受けて利用者さんを注意深く観察し介助にあたっています。</li> </ul>						
(4) 利用者等との情報及び意識の共有								
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供								
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	16	3	4	1	<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>	
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な言葉ではなく理解しやすい単語や図を用いて理解を受けようとしている。</li> <li>・利用者様が理解できているのか分からない。</li> <li>・利用者さんの意思や願いもある中で、訪看さんの指示、指導をやさしく受け入れて頂けるよう、伝えるよう努めています。</li> </ul>						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明								
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	14	3	3	4		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用者や家族と対話の機会を作り、理解を受けている。						
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	16	4	2	2		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・自ら行う処置の仕方や機器の扱い方法を確認し、役割分担の理解を受けている。 ・医療処置、機器の取り扱い方法を理解している。						
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有								
25	○ 利用者本人(意思の決定・表示ができない場合は家族等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	3	17	4	1	1		✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・意欲表示困難な利用者の意向は、日頃の表情や様子から汲み取っている。又、家族の意向も確認してプランを作成し、職員間で共有する事で反映を図っている。 ・サービス提供への適切な反映がなされていると思う。						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	2	15	5	2	2		✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用者や家族の実情を把握し、先の予測も含めて説明しながら進めることが出来ている。 ・終末期ケアにおいて、利用者に説明する場面がなかったです。						
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	3	15	2	4	2		✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・医師の協力を受けながら、予測される状況と方向性を確認しながら終末期を受け入れられるように丁寧な対応を実践し、記録に残している。 ・経過の説明は出来ていないが、記録として残している。						
2. 多機関・多職種との連携								
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供								
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行								
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	1	14	4	4	3		✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・本人及び家族状況を確認し在宅復帰へ繋ぐ事が出来ている。						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有								
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる	2	14	5	2	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> <li>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・退院時カンファレンスや医師との面接によってオンコールも含めた対応方法の確認を実施できている。 ・夜勤専門なので利用者の状態変化は共有できても、家族や介護者の状況判断が難しい。						
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築								
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	4	13	5	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・365日、24時間体制で実施できている。 ・利用者の体調の変化があった場合は、その都度病院に連絡し必要に応じて受診している。 ・即座な対応が可能な体制になっています。						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
(2) 多職種との連携体制の構築								
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討								
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	1	10	5	7	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</li> <li>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</li> <li>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</li> </ul>	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・コロナ禍によって開催出来ていない。						
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信								
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	4	10	5	4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>	
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・観覧可能な場所に会議録を常に設置出来ている。 ・記録は見る事ができている。						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	1	5	6	10	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</li> <li>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</li> <li>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</li> </ul>
<p>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</p>								
<p>① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供</p>								
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	2	6	3	5	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</li> <li>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ								
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1	4	2	15	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>	
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・看護職員不足によって最初からサクシヨンありきの利用者受け入れは困難である。						
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1	4	2	15	4		
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・人工呼吸器が必要な利用者への対応は実施していない。					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>	
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	2	9	7	4	4		
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・夜間帯や日中帯でも頻回にサクシヨンが必要な利用者対応は困難な実情もあるが、新規ではなく、対応可能と判断できる従来からの利用者へは対応している。 ・積極的に受け入れています。						<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解								
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	1	4	11	6	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・管理者クラスや一部職員の中には理解できている者はいりますが、すべての職員の理解には至っていない。						
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開								
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	2	14	2	5	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>						

番号	評価項目	事業所自己評価					運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	回答なし		
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等								
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	2	7	6	7	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>	
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・市役所や包括、関係者に対して提案を実施できている。						
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	1	4	10	7	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>	
		<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・介護力を把握し、役割分担を明確にして対応できている。						

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (8) 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (6) 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている (5) 4. 利用者の1/3には満たない 5. 回答なし (7) <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・すべての目標クリアは難しいが、プラン変更を行いながら目標達成に向け進める事は出来ている。 ・利用者様一人一人の状態を見て介護にあっている。		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている (7) 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている (7) 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている (3) 4. 利用者の1/3には満たない (2) 5. 回答なし (7) <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・各職種、医療規範との連携や迅速な対応によって安心感は持って頂けている。 ・在宅での療養生活を希望する家族は少ない。		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における意見等	評価の視点・評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている（4）</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている（1）</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている（3）</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない（3）</p> <p>5. 看取りの希望者はいない（7）</p> <p>6. 回答なし（8）</p> <hr/> <p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>・ 医師との連携や丁寧な対応によって看取り後は感謝の言葉を受けている状況から、安心感を持って頂けていると判断する。</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>